

EV(電気自動車)とは？ 将来は？ を考える

EV 設備の説明会を開きます＝2月3日(土)10:00



すでにご案内の通り、2月3日(土)午前10時から、EV(電気自動車)の充電設備についての説明会を開きます。

「よく分からない」「もっと詳しく知りたい」などのご意見や疑問なことなど、あることでしょう。そのため、内容を詳しく知り、理解することが大切になってきます。専門の設置業者による説明会になります。ぜひ多くの皆様のご参加をお願いします。

設備を設置するか否かは、資産価値など、これからのマンションのあり方にも影響することになるかも知れません。皆で一緒に考えたいと思います。

「参加票」は1月31日までに

ご案内の「参加票」をご提出お願いします。参加できない場合でも、疑問点や知りたいことについてご記入・提出いただければ、後日皆様にお知らせできると思います。

今後の進め方は…

まず、皆様のご意向をまとめることが大事です。

アンケートや協議会(話し合い)などを予定しております。

未来を左右するのは、現在の私たちの判断です。慎重に真剣にすすめていきたいと思います。

暮らしのメモ帳

車椅子専用ボタンで「右かご」が優先されます。サイズが大きいので、大きな荷物を運ぶ時などにも便利です。



ドアは開閉ボタンで操作しますが、ドア先端の機械式セフティのほか、出入り口に障害物があると、光センサーが感知して自動で開きます。

満員時や異常時に、タイムリーな音声メッセージが流れます。

行先階ボタンを取り消したいときは、点灯している行先階ボタンを2回続けて押し点滅状態を押すと、キャンセル(消灯)できます。

いたずらなどで不必要に押されたかご呼びは、いったん全登録が自動でキャンセルされます。

ボタンは、抗菌処理されています。素手で触れても感染等の心配はありません。

押しボタンはていねいに、必要以上に強く押したり、乱暴に扱わないでください。また、ボタンを硬いものや鋭利なもので押さないでください。(故障の原因)



資産価値ってナニ？

財産としてのマンションの「ねうち」のことです。資産価値は高い、または価値が落ちにくいことが大切です。「ああ、ここなら住んでみたい」「いや、ここはどうかなあ」と言ったことに尽きます。

資産価値はナニで決まるの？

「ねうち」は、マンション全体の景観や設備などの「共用部」と、各部屋内部の構造や様子などの「専用部」との2面から判断されます。

外観は立派でも部屋が住みにくい、または、部屋は良くても管理が行き届いているか、必要な設備があるかないかなどが「ねうち」の判断材料になります。

資産価値、そのポイントはナニ？

部屋内部の管理は、住んでいる方次第です。家具等の配置や片付けなどを工夫して気持ちよく暮らせる環境作りに心がけましょう。

共用部分は、主に管理組合が次のポイントを中心に管理しています。

①日常的な清掃やメンテナンス(軽微な修繕)が行き届いていること、トラブルにも迅速に対応すること、②修繕積立金の適切な維持管理、③定期修繕や時代に合った必要不可欠の設備を備えること、④マンション内のコミュニティに関わる部分で、生活秩序の維持・管理など、トラブルが起きやすい傾向を避ける工夫も大事になってきています。(④は、主に自治会)

他に、交通の利便性、周辺環境などがありますが、ここでは省きます。

注意！玄関ドアの内側ロック

～カギがあっても部屋に入れなくなることも～

まれにあります。玄関ドアの防犯用の内側ロック。ちょっと部屋を出るとき、ロックが少し開いた状態で「バタン」と閉めてしまいます。すると、その弾みでロックされることがあります。ドアは開けられません。注意しましょう。



新規図書を購入しました(自治会)

気軽にご利用ください＝ミニ図書館と新書のご紹介

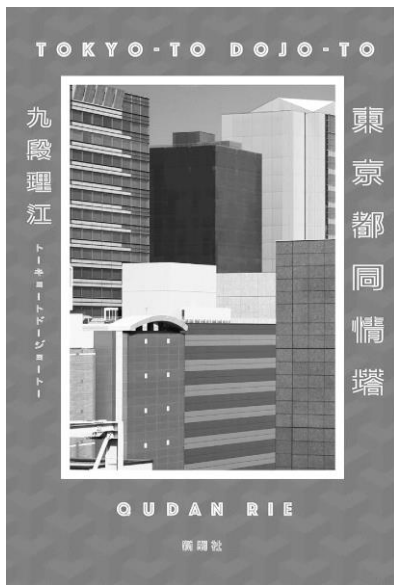
集会室のミニ図書館に、話題の本を購入し、皆さんに楽しんでもらうことにしました。直木賞、芥川賞、本屋大賞を受賞した作品を主として購入する計画です。

集会室の蔵書はおよそ 2,000 冊以上。小説はもちろん、マンガから図鑑など様々なジャンルの書籍が並んでいます。皆さん、ぜひ足をお運びください。

「図書カード」で管理 ～図書の貸し出し～

集会室の図書は、貸し出しています。

- ① 「図書カード」に、お名前と書名、返却予定日を記入します。
- ② 記入した「図書カード」をファイルにとじて、本を借ります。
- ③ 本を返したら、「図書カード」をファイルからはずし持ち帰ります。書名やお名前などの個人情報に残りません。(保護されます)



芥川賞
東京都同情塔 九段理江(著)

日本人の欺瞞をユーモラスに描いた現代版「バベルの塔」
ザハの国立競技場が完成し、寛容論が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所「シンパシタワートキーヨー」が建てられることに。犯罪者に寛容になれない建築家・牧名は、仕事と信条の乖離に苦悩しながらパワフルに未来を追求する。

ゆるふわな言葉と、実のない正義の関係を豊かなフロウで暴く、生成と時代の預言の書。

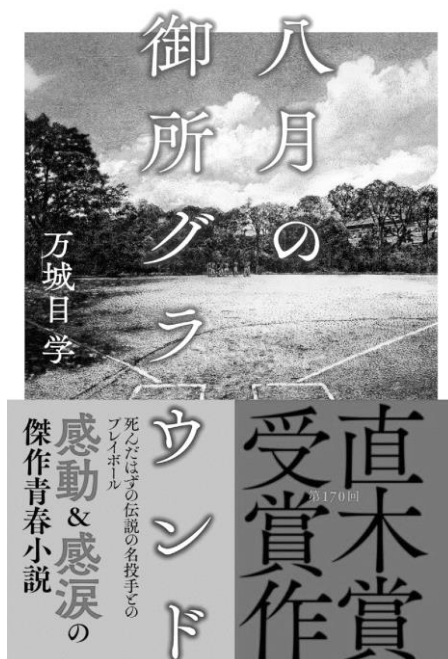
ともぐい 河崎秋子(著)

第170回 直木賞受賞

新たな熊文学の誕生!!

各所で話題沸騰! 身体のコをえぐられるような死闘の連続!

第170回直木賞受賞作! 己は人間のなりをした何ものか——人と獣の理屈なき命の応酬の果てには
明治後期の北海道の山で、猟師というより獣そのものの嗅覚で獲物と対峙する男、熊爪。図らずも我が領分を侵した穴持たずの熊、蠱惑的な盲目の少女、ロシアとの戦争に向かってきな臭さを漂わせる時代の変化……すべてが運命を狂わせてゆく。人間、そして獣たちの業と悲哀が心を揺さぶる、河崎流動物文学の最高到達点!!



八月の御所グラウンド 万城目学(著)

死んだはずの名投手とのプレーボール
戦争に断ち切られた青春
京都が生んだ、やさしい奇跡
女子全国高校駅伝——都大路にピンチランナーとして挑む、絶望的に方向音痴な女子高校生。
謎の草野球大会——借金のかたに、早朝の御所のグラウンドでたまひで杯に参加する羽目になった大学生。
京都で起きる、幻のような出会いが生んだドラマとは——
今度のマキメは、じんわり優しく、少し切ない
青春の、愛しく、ほろ苦い味わいを綴る感動作2篇